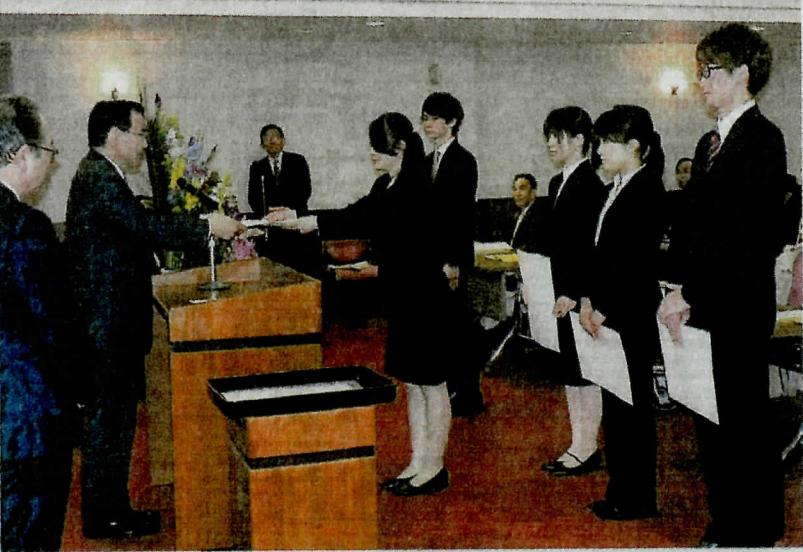


院生の研究に助成金 千葉大学なのはなコンペ



徳久学長から表彰状を受け取るなのはな賞の受賞者たち
=21日、稲毛区の千葉大学

大学院生の優れた研究に助成金を贈呈する千葉大学ベンチャービジネスラボラトリーアイデアコンペ2014(学生版)表彰式が21日、稲毛区の同大けやき会館で開かれた。本年度は応募された24件の中から、5人がなのはな賞、3人が特別賞(2人は重複)に選ばれた。

なのはな賞と特別賞をダブル受賞した山内光陽さんは「動的ナノチューブを用いた刺激応答性液体デバイスの開発」を応募。光で液体デバイスを制御する最先端の研究で、「ナノチューブ研究のおもしろさ、やりがいを理解してもらいたい」と意を誓った。

徳久剛史学長は「起業家精神を持つて、社会に大きくはばたいてもらいたい」と激励。特別賞のスポンサーとなつた日本インサイドテクノロジー、光と風の研究所、千葉大学経済人俱楽部の代表者が祝福の言葉を述べた。

コンペは15年前に「なのはなベンチャーコンペ」と評価していただいたのは大きな財産」と喜んだ。やはりダブル受賞した中島誠也さんのテーマは「新規メラノーマ(悪性黒色腫)治療薬の創薬研究」。増加傾向にある皮膚がんの一種、メラノーマの治療に効果的とされる天然有機化合物に着目して、創薬の可能性を探った。「応募にあたり見つけ直すことがで、よりいいそう研究に励み、責任を果たしたい」と意欲を見せた。

徳久剛史学長は「起業家精神を持つて、社会に大きくはばたいてもらいたい」と激励。特別賞のスポンサーとなつた日本インサイドテクノロジー、光と風の研究所、千葉大学経済人俱楽部の代表者が祝福の言葉を述べた。

「い」と応募の動機を話す、「はなベンチャーコンペ」と評価していただいたのは大きな財産」と喜んだ。やはりダブル受賞した中島誠也さんのテーマは「新規メラノーマ(悪性黒色腫)治療薬の創薬研究」。増加傾向にある皮膚がんの一種、メラノーマの治療に効果的とされる天然有機化合物に着目して、創薬の可能性を探った。「応募にあたり見つけ直すことがで、よりいいそう研究に励み、責任を果たしたい」と意欲を見せた。

徳久剛史学長は「起業家精神を持つて、社会に大きくはばたいてもらいたい」と激励。特別賞のスポンサーとなつた日本インサイドテクノロジー、光と風の研究所、千葉大学経済人俱楽部の代表者が祝福の言葉を述べた。

コンペは15年前に「なのはなベンチャーコンペ」と評価していただいたのは大きな財産」と喜んだ。やはりダブル受賞した中島誠也さんのテーマは「新規メラノーマ(悪性黒色腫)治療薬の創薬研究」。増加傾向にある皮膚がんの一種、メラノーマの治療に効果的とされる天然有機化合物に着目して、創薬の可能性を探った。「応募にあたり見つけ直すことがで、よりいいそう研究に励み、責任を果たしたい」と意欲を見せた。

徳久剛史学長は「起業家精神を持つて、社会に大きくはばたいてもらいたい」と激励。特別賞のスポンサーとなつた日本インサイドテクノロジー、光と風の研究所、千葉大学経済人俱楽部の代表者が祝福の言葉を述べた。